

(従業者向け) 保育所等訪問支援評価表

○本評価表は、保育所等訪問支援に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など |
|------------|---|---|----|---------------------------------|--|
| 環境・運営・体制整備 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | ○ | | 必要に応じて買いそろえている。 |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 現状適切であるが、今後利用者様の増加に伴い支援員も増やしていきます。 |
| 業務改善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 効率よく業務を遂行している。 |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | HUGにて、全利用者様に事業所評価を実施して改善に努めている。 |
| | 5 | 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。 |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | 外部評価は受けていない今後検討していく。 |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 法人全体での研修への参加や、月1のミーティング内で支援に関する情報を全体で確認する時間を設け、スキルアップにつなげている。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | ○ | | 子どもと保護者のニーズや課題元に保育所等訪問支援計画を作成している。 |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている。 |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | ○ | | 訪問先施設の先生方の意見を取り入れている。 |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有されている。 |
| | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 標準化されたアセスメントツールは使用していない。日々の行動観察などから得た情報をミーティングで話し合い、アセスメントシートに記載して共有することにより、全スタッフが確認できるような仕組みを整えている。 |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | ガイドラインを参考に作成している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 電話等で訪問日の調整や支援の入れ方をその都度確認している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援後の隙間時間に現状の確認や今後の方針などをすり合わせている。 |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | ○ | | 訪問先の保育や教育の理念や支援手法を尊重して支援を行っている。 |
| | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | ○ | | 記録作成を徹底している。 |
| 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行っている。 | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 支援者や管理者などが参加している。 |

| | | | | |
|--------------|----|--|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | 必要に応じて、保健士さんと連携している。 |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | 該当児童なし。 |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | ○ | 社内研修だけではなく、自治体などの外部研修を推進している。 |
| | 24 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | 日程があれば自立支援協議会に参加している。 |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | 対面キッチンだけではなく、HUGや電話で共通理解を作っている。 |
| 保護者等への説明等 | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | 家族の対応力の向上を図る観点から、保護者会で子育ての悩みに対応している。 |
| | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | 契約時の他、質問があれば丁寧に説明している。 |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | ○ | 重要事項説明書で説明している。 |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | こどもや家族の意向を確認する機会を設けて、本人の意思決定も大切にしている。 |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | ○ | 保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ている。 |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | 子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | 保護者交流会を企画して、気軽に相談できる環境整備を行っている。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | 相談しやすい関係性を築きながら、相談に対応している。 |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | SNSにて配慮しながら情報発信を行っている。 |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | 個人情報の取扱いに十分留意している |
| | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | 意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。 |
| 訪問先施設への説明等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | ○ | 相談しやすい関係性を築きながら助言を行っている。 |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | ○ | 隙間時間を使って報告や共有ができる時間を設けている。 |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | ○ | HUGにて共有している。 |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | 個人情報の取扱いに十分留意している |
| ル | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | ○ | 少しずつ信頼関係を形成しながら訪問している。 |
| | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | 月1のミーティング等でマニュアルを確認する時間を設け、有事の際を想定した訓練を実施している。契約時やHUGで周知を行っている。 |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施してお子様や職員の安全管理を行っている。 |

| | | | | |
|---------|----|--|---|---|
| 非常時等の対応 | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | ヒヤリハット報告書を全スタッフが記入する仕組みを整えている。月1のミーティングでヒヤリハット件数等に関する振り返りを行うことで、事業所全体としての危機管理への意識が向上している。 |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | 職員を対象に虐待防止研修を年2回実施した。日々の関わりの中で、不適切な言動が行われないように、研修等で人権意識を高め、職員同士が日々の行動や言動を点検し合いながら、虐待防止に努めている。 |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | 職員を対象に身体拘束に関する研修を実施した。社内方針では、やむを得ない場合（他のお子様の安全に関わる場合など）を除き、身体拘束を行わないことが定められている。今年度は全利用者に対して身体拘束は1件も行われなかった。 |